

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

大学改革と研究力強化の拠点を形成

先端科学高等研究院開所式とシンポジウムを開催

学長をトップとする全学的研究組織、社会のリスク回避を牽引

- 横浜国立大学（鈴木邦雄学長）は 2014 年 10 月 1 日、科学技術の進歩と社会の要請に応じた「実践的学術の国際拠点」としての機能を一層発展させるために、「先端科学高等研究院」を設置しました。
- 先端科学高等研究院は学長のリーダーシップのもと、学長が研究院長を兼務して、大学改革の象徴として本学の強みであるリスク共生学を中心とした持続可能社会の実現に貢献する研究の一層の進展を図るものです。
- 先端科学高等研究院の設置に伴い 11 月 17 日（月）に開所式およびシンポジウムを開催、広く社会へその意義を伝えます。

【先端科学高等研究院のミッション】

法人化後 10 年を経過した国立大学は、それぞれの特徴を活かし強みとする先端研究を一層加速させ、各大学の改革強化を推進し、なお一層の社会貢献が強く求められています。先端科学高等研究院長は学長が兼務し、研究分野の選択、教員の選考、組織運営をトップダウンで行います。過半数が学外委員で構成される諮問会議に諮りながら、学長がリーダーシップを発揮した運営を行い、その研究成果や組織運営の手法は、知の創造と活用の好循環を実現する大学自体のイノベーション創出に展開します。

【先端科学高等研究院の開所式／シンポジウムの開催の概要】

日時：11 月 17 日（月） 16:00～18:00

会場：教育文化ホール・大集会室

〈プログラム〉

司会進行：理事・副学長 國分泰雄

1. 開会挨拶「横浜国立大学における先端科学高等研究院の役割」
先端科学高等研究院・研究院長(学長) 鈴木邦雄
2. 先端科学高等研究院の概要と研究ユニット
先端科学高等研究院・副研究院長 藤江幸一
3. 基調講演「科学技術・イノベーションの近況と先端科学高等研究院への期待」
(独)科学技術振興機構・社会技術研究開発センター長 泉 紳一郎氏
4. 称号付与（先端科学高等研究院の教員に対する称号の付与）
5. 「社会インフラの安全構築と先端科学技術」
「社会インフラの安全」研究ユニット主任研究者・教授 藤野陽三
6. 設置予定研究ユニットの紹介（9 研究ユニットの主任研究者(予定者)より）
7. 終わりに
理事・副学長 國分泰雄

（参考資料をご確認のうえ、ご取材等よろしくお願ひ申し上げます）

本件に関するお問い合わせ先

国立大学法人横浜国立大学 先端科学高等研究院
楠城 一嘉

横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5 共同研究推進センター 研究推進機構気付

TEL : 045-339-4454 / FAX : 045-339-4456

E-mail : nanjo@ynu.ac.jp

先端科学高等研究院の紹介と開所式のご案内

横浜国立大学は2014年10月1日、科学技術の進歩と社会の要請に応じた「実践的学術の国際拠点」としての機能を一層発展させるために、「先端科学高等研究院」を設置しました。本学の強みであり、他大学では類を見ないリスク共生学の研究を中心に、安心・安全で持続可能な社会を世界的に実現するための研究拠点を形成することを重点目標に掲げています。

法人化後10年を経過した国立大学は、それぞれの特徴を活かして強みとする先端研究を加速させ、各大学の改革強化を推進し、なお一層の社会貢献が強く求められています。先端科学高等研究院長は学長が兼務し、研究分野の選択、教員の選考、組織運営をトップダウンで行います。過半数が学外委員で構成される諮問会議に諮りながら、学長がリーダーシップを発揮した運営を行い、その研究成果や組織運営の手法は、知の創造と活用の好循環を実現する大学自体のイノベーション創出に展開します。

先端科学高等研究院の設置は、国立大学改革強化推進補助金を得て行われるものであり、全学共通の研究組織として現代社会におけるイノベーションの促進に伴うリスクの科学的評価やリスクの顕在化を未然に防止する方策等についての先進的研究を推進します。設立当初は、安心・安全イノベーション、スマートシティ創造とイノベーション、ライフイノベーション等の分野において、国際共同研究の実施を通して新たな学術を創出するとともに、本学の世界的プレゼンスの向上を目指します。

先端科学高等研究院は、研究部門と研究支援部門から構成され、約10の研究ユニットを設置する予定です。本学を代表する教員が主任研究者（Principal Investigator: PI）となり、海外および産業界からのPIと連携して当該分野で世界をリードする研究を実施します。研究ユニットの設置は時限とし、新たな研究分野を創造する気鋭の研究者に引き継がれます。

横浜は、開港以来海外から多様な文化を取り入れ、それらの特徴を巧みに融合しながらダイナミックな発展を遂げてきた国際都市であり、その横浜を舞台として世界をリードするリスク共生学、すなわち生活を取り巻くリスクを効果的・効率的に低減し安心・安全で持続可能な社会を世界的に実現するための研究を展開します。本学の先進的なリスク共生学研究を核として、海外の大学や研究機関、産業界等から著名な研究者を結集させ、強力なネットワークを形成した上で、学術分野の枠を超えた実践的研究の推進を通して世界の研究拠点を形成することを目指しています。

先端科学高等研究院に配置された研究ユニットは、国内外の研究拠点や産業界と連携して、知的財産の獲得、世界基準・規格へのインプットを通して世界規模での社会実装等を推進します。各研究ユニットは、外部資金の獲得を基盤として外部研究機関や民間企業等と研究コンソーシアムを形成し、国際シンポジウム、サマースクール等の外部向けイベントを通しネットワークの拡大と情報発信を推進します。

本学は、国際都市横浜に立地している文系・理系の4学部から構成された中規模の複合大学です。実践性、先進性、国際性、開放性を基本理念としており、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略特区などの先進事業を展開する神奈川県、横浜市等と連携した先端研究およびその社会実装に係る取り組みと経験を社会に実装・還元することは、安心・安全で持続可能な社会の世界的な実現に大きく貢献することが可能になります。

横浜国立大学・先端科学高等研究院・シンポジウムシリーズ 第1回：キックオフ特別講演会

横浜国立大学は2014年10月、科学技術の進歩と社会の要請に応じた「実践的学術の国際拠点」としての機能を一層発展させるために、「先端科学高等研究院」を設置しました。本学の強みであるリスク共生学の研究を中心に、世界の持続的発展に資する研究拠点を形成することを大きな重点目標に掲げています。

先端科学高等研究院(Institute of Advanced Sciences; IAS)では、研究活動の情報発信と国内外との交流促進を目的としてIASシンポジウムシリーズを企画し、その第1回として下記の通りシンポジウムのキックオフを行います。ご多忙中のこととは存じますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：11月17日(月) 16:00～18:00

会場：教育文化ホール・大集会室

プログラム

司会進行 理事・副学長 國分泰雄

1. 開会挨拶「横浜国立大学における先端科学高等研究院の役割」
先端科学高等研究院・研究院長(学長) 鈴木邦雄
2. 先端科学高等研究院の概要と研究ユニット
先端科学高等研究院・副研究院長 藤江幸一
3. 基調講演「科学技術・イノベーションの近況と先端科学高等研究院への期待」
(独)科学技術振興機構・社会技術研究開発センター長 泉 紳一郎氏
4. 称号付与(先端科学高等研究院の教員に対する称号の付与)
5. 「社会インフラの安全構築と先端科学技術」について
「社会インフラの安全」研究ユニット主任研究者・教授 藤野陽三
6. 設置予定研究ユニットの紹介(9研究ユニットの主任研究者(予定者)より)
7. 終わりに

理事・副学長 國分泰雄

泉紳一郎氏：東大工・原子力卒(S52年3月)、科学技術庁入庁、文科省研究振興局振興企画課長、大臣官房会計課長、筑波大学副学長、科学技術・学術政策局長、内閣府政策統括官を経て現職

研究ユニット名	水素エネルギー変換化学	主任研究者	光島重徳教授(工学研究院)
研究概要 再生可能エネルギーの大幅導入のための水素エネルギー技術として、エネルギーキャリアの直接電解合成のシステム及び材料、ならびに固体高分子形燃料電池用の非貴金属酸化物系酸素還元触媒などの研究開発を行います。			
研究ユニット	コンビナート・エネルギーの安全	主任研究者	三宅淳巳教授(環境情報研究院)
研究概要 我が国の産業基盤である石油化学コンビナートやエネルギー関連施設の安全性高度化のため、化学プラントプロセスおよび機械システム等が有するハザードの評価を行い、技術システムのリスク管理研究を推進する。(97字)			
研究ユニット名	医療機器レギュラトリ科学	主任研究者	河野隆二教授(工学研究院)
研究概要			
研究ユニット名	海洋構造物の安全と環境保全	主任研究者	荒井誠教授(工学研究院)
研究概要 海洋における液化天然ガス開発用浮体構造物の安全性と稼働性能について、サンパウロ大学と共同研究を行う。また、省エネ・安全性能を飛躍的に向上させた次世代船舶について、上海交通大学と共同研究を行う。			
研究ユニット名	次世代超省エネプロセッサ	主任研究者	吉川信行教授(工学研究院)
研究概要 熱力学的極限を超える究極の低消費エネルギー超伝導集積回路の実現を目指します。計算におけるエネルギー下限値を実験的に解明するとともに、断熱的回路を用いた超省エネルギープロセッサの研究開発を行ないます。			
研究ユニット名	情報・物理セキュリティ	主任研究者	松本 勉教授(環境情報研究院)
研究概要 最先端マルウェア対策技術、暗号技術、ソフトウェア・ハードウェア技術、システム技術、セキュリティエコノミクス等を駆使して IT の進歩の一步先を行くサイバーセキュリティ技術の研究を実施する。			
研究ユニット名	安全(・豊か)な都市デザイン	主任研究者	北山恒教授(都市イノベーション研究院)
研究概要 資本主義が変容する時代における社会的リスクに対応した未来の都市／地域のあり方、新しい社会システムの構築に向けて、世界の都市の課題に照らし合わせた研究を海外のシンクタンクや大学と協同で行う。			
研究ユニット名	グローバル経済社会のリスク	主任研究者	富浦英一教授(国際社会科学研究院)
研究概要 今日のグローバル経済社会は、金融市場の変動、高齢化、失業等、様々なリスクに直面している。これらについて、経済学を始めとした社会科学分野で国際的に活躍している海外の研究者を招いて国際共同研究を行う。			
研究ユニット名	超高信頼性自己治癒材料	主任研究者	中尾航准教授(工学研究院)
研究概要(100字以内) 本研究ユニットでは、自己治癒材料を中心とした次世代の超高信頼性構造材料の開発を実施します。さらに、これらの材料系の国際標準となる評価手法の確立、自己治癒材料の適用に関するリスク評価を実施します。			

(順不同)